

令和5年度子育て講座



大学の各専門分野の先生方から
子育てに役立つお話をいたします。
お子さまは隣の部屋でお預かりして、
遊んで過ごします。

今年は4回を予定しています。
ご参加お待ちしております♪

- 対象：乳幼児のいらっしゃるご家庭中心ですが、どなたでも参加可能
- 参加費：無料
- 開催場所：十文字女子大附属幼稚園 オンライン 同時開催

第1回 7月6日(木)

10:00~11:30

「心に潜んでいる
“認知バイアス”とは」

心理学科

池田 まさみ 先生

第2回 9月22日(金)

10:00~11:30

「根を育てる生活
～幼児期に大切にしたいこと～
PartIV」

十文字女子大附属幼稚園 園長
伊集院 理子 先生

第3回 11月17日(金)

10:00~11:30

「 幼児期から児童期の教育 」

幼児教育学科

桶田 ゆかり 先生

第4回 1月19日(金)

10:00~11:30

「幼児期の運動能力の現状と課題、
そして私たちができること」

幼児教育学科

鈴木 康弘 先生

《お問い合わせ》十文字女子大附属幼稚園

電話：048-477-3521 HP：https://youchien.jumonji-u.ac.jp/



HPQRコード

～お申し込み方法～ **締め切り:開催1週間前**

- ① 下記の QR コードを読み取っていただくか、URL にアクセスしていただき、
申し込みフォームに必要事項をご記入下さい。(https://forms.office.com/r/K6NgYV2uuV)

※申し込みフォームにて、現地参加の方の託児申し込みを受け付けております。(定員20名)
対象は、2, 3歳児。専門スタッフが隣の部屋でお預かりしますが、同伴でも参加可能です。

- ② 現地参加を希望される方は、当日、十文字女子大附属幼稚園にお越し下さい。
- ③ オンラインでの参加を希望される方は、開催数日前までに登録アドレスにメールが届きます。
ZOOM アプリをダウンロードの上、URL をクリックし、講座にご参加下さい。
(PC、タブレット、スマートフォンでの受講が可能)



主催 十文字学園女子大学 十文字女子大附属幼稚園

第1回 7月6日(木) 10:00~11:30

テーマ: 心に潜んでいる「認知バイアス」とは

池田 まさみ 先生

十文字学園女子大学 心理学科 教授

【講義概要】ときどき「なんでこんなものを買ってしまったんだろう!」とか、「なんであの時賛成しちゃったんだろう!」などと思うことはありませんか。そこには、私たち人間の記憶や思考といった認知のゆがみ、すなわち「認知バイアス」が関わっていることがあります。最近よく聞かれる「アンコンシャスバイアス」もこのバイアスのひとつです。認知バイアスにはネガティブな面だけでなくポジティブな面もあります。どんな時にどんな認知バイアスが生じるかを「知っておく」ことで、トラブルを未然に防いだりリスクに対処できたりすることがあります。みなさんと一緒に「あるある体験!ワーク」を通して、私たちの心に潜む「認知バイアス」を探ってみたいと思います。

【略歴】お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了 博士(学術) 同大学院助手・講師・准教授を経て、2011年より現職 専門は認知心理学 視覚認知や思考のメカニズムを実験的に検証 また、子ども向けの心理学実験教材などの開発にも携わっている。2018年、認知バイアスを紹介するHP「錯思コレクション100」を開設

第2回 9月22日(金) 10:00~11:30

テーマ: 根を育てる生活~幼児期に大切にしたいこと~PartIV 伊集院 理子 先生

十文字女子大附属幼稚園 園長

【講義概要】幼児期の教育は、子どもたちがこの先成長していく上での根の力を培う重要な役割を担っています。今年は、子ども達の「表現」に焦点をあてて、幼稚園の生活の中でどのような子ども達の表現が立ち現れているのか、それらが子ども達の根の力にどうつながっていくのか、幼稚園での遊び・生活の様子もたくさんご紹介しながら、保育者としての歩みの中で学んできた事、今も考え続けている事などを織り交ぜて、「表現」についてお話しします。

【略歴】お茶の水女子大学家政学研究科児童学専攻修士課程修了(家政学修士) お茶の水女子大学附属幼稚園教諭・副園長・十文字学園女子大学人間生活学部幼児教育学科教授を経て、十文字女子大附属幼稚園園長 “子どもたちと一緒に遊ぶ”をモットーに、日々子どもたちと楽しんで過ごしています。

第3回 11月17日(金) 10:00~11:30

テーマ: 幼児期から児童期の教育

桶田 ゆかり 先生

十文字学園女子大学 幼児教育学科 教授

【講義概要】「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの(教育基本法)」であり、幼稚園教育は「環境を通して行うもの」であることを基本としています。つまり、幼稚園は遊ぶところ。幼児は環境に自ら関わる「遊び」を通して「学習」しています。生き生きと遊んでいる子どもの姿は微笑ましいけれど、遊んでばかりで何が育っているの? 小学校にいった大丈夫? その不安・疑問にお答えできればと思います。

【略歴】玉川大学文学部教育学科卒 聖徳大学教職大学院教職研究科教育実践専攻修了 教職修士(専門職) 専門は保育学・幼児期の安全教育 東京都公立幼稚園の担任・教頭・園長を経て本学に着任 東京都国公立幼稚園・こども園長会元会長 平成29年の幼稚園教育要領改訂に関わり、各教育委員会の依頼により幼児教育の不易と流行について講演を行っている。

第4回 1月19日(金) 10:00~11:30

テーマ: 幼児期の運動能力の現状と課題、そして私たちができること 鈴木 康弘 先生

十文字学園女子大学 幼児教育学科 教授

【講義概要】社会の都市化、情報化が進む中で子どもの運動能力の低下が危惧されてきましたが、新型コロナウイルスの蔓延による不活発な生活習慣がそこに追い打ちをかけるような形で作用し、子どもの運動能力がより一層低下していることが報告されています。このような状況は、子どもの将来にどのような影響を及ぼす可能性があるのでしょうか? また、私たち大人は子どもの将来のためにどのような手立てを考えることができるのでしょうか? 幼児期の運動発達の特徴という視点をベースとして、保護者の皆さんと一緒に考えてみたいと思っています。

【略歴】東京学芸大学大学院教育学研究科修了(教育学修士) 子どもの社会的・心理的発達を促す運動指導のあり方について関心を持ち研究している。新座市子ども子育て会議委員 三鷹市スポーツ推進委員会委員